

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	子どもケアハウス PRABA		
○保護者評価実施期間	2024年 4月22日		～ 2024年4月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2024年4月 22日		～ 2024年 4月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お子様の健やかな成長のために細かな変化や表情の違いなどに日々留意しつつ、個々の個性を尊重しのびのびと自分らしさを表現できるよう適切なサポートをしております。	毎日、スタッフ間で情報を共有しており保護者に連絡が必要な場合は送迎時にお伝えしたり、定期的な面談の時間を設け状況の説明や今後の取り組み等をお伝えしております。	お子様個々の療育だけではなく集団での表現力の強化やコミュニケーション、デジタルデバイスへの対応など社会の様々な場面において必要とされる能力をそれぞれの感性や個性に合った方法を見つけながら、共に成長を目指すサポートをしていきます。
2	車椅子や装具が必要なお子様などにも有用な環境づくりや集団、個に対応した療育空間を提供しています。	日々のお子様の状況によって空間配置を変更しています。またお子様の体調、状況に応じて療育内容を臨機応変に対応しております。同じ療育でも観点を交えるなどの工夫をしています。	療育環境の固定をせずに近隣の公園などの広いスペースや同じ場所でも観点を交えた配置換えをするなど常にお子様に新しい発見や楽しさ、感情を創出できるよう取り組んでいきます。
3	季節の変わり目や地域の自然を生かし事業所イベントや公園等で社会性や多くの人びととかわかることによって豊かな感性やコミュニケーション力を高めています。	お子様たちの全員に目が届くように人員配置に気を配り、イベント等の内容によってお子様たちに準備から片付けまでを体験いただき物事を流れを学んでもらう活動もしています。	今後もイベント等の機会を定期的に継続して設け、お子様1人1人が成長を実感できるよう、より様々な体験を提供していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の学童や児童館などとの交流、その他の地域の子どもと活動する機会を持っておりません。	前年度までは感染症流行下であったため、なかなか外部との交流という面では難しいところがありました。また、放課後デイの活動時間帯では外部施設等までの移動時間と下校時間との兼ね合いの問題があります。	現在、感染症対策も最低限のものとなったため順次、他機関との連携を検討していきます。
2	事業所内での活動内容は保護者に都度伝えることができているが、保護者同士の交流がなかなか取れておらず子供同士のみ交流のみで施設内での子供たちの関係を把握しづらい場面もある。	上記の弱みでもありましたが、前年度までは感染症流行下であったため、なかなか外部との交流という面では難しいところがありました。また、お子様たちそれぞれの通学している地域の違いなども考慮して考えております。	保護者の方も参加できるイベントを今後はさらに増やしていく、日程も各学校の行事の状況を反映させ、子どもたちの交流のみではなく大人同士の交流や事業所でのお子様の様子を見てもらう機会を増やします。
3			